

実習内容
ならびに
スケジュール

遺伝子医療部

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月				
火				
水				
木	オリエンテーション 遺伝カウンセリング同席／情報等実習 遺伝カウンセリング同席／情報等実習 昼休み ロールプレイ演習事前調査 ロールプレイ演習リハーサル ロールプレイ演習と評価	宮崎、上田 担当医 担当医 担当医 担当医 宮崎、上田	9：30 14：00 15：00	1号館3階 遺伝子医療部 1号館3階 遺伝子医療部
金				

◎ 診療科名： 遺伝子医療部

◎ 責任者氏名： 宮崎 彩子 准教授

◎ 指導教員氏名： 上田 真子 助教

田中 宏幸 教授

李 知子 准教授

澤井 英明 教授

◎ 実習概要

1.遺伝カウンセリングに同席・症例検討、2.遺伝学的検査の解釈、3.疾患情報（とくに英文情報）の検索、4.ロールプレイ演習などを行い、遺伝子医療の領域において適格な遺伝カウンセリングと遺伝学的検査の実施の対応力をつけることを目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- ・生殖細胞系列変異と体細胞変異の違いを明瞭に説明できる。
- ・ゲノム医学に関わる従来からの遺伝医学的検査、新規検査手法を説明できる。
- ・ゲノムデータ（DNA、RNA）や染色体検査の取り扱い（画像・データ処理）を理解し、変異／多型の同定を実践できる。
- ・ゲノムバリエーションと疾患の関連について、適切な情報を検索して説明できる。
- ・遺伝カウンセリングの手法・プロセス・目的を説明できる。
- ・遺伝カウンセリングセッションで聴き取った家系図を正しく描くことができる。
- ・ゲノムデータ取り扱い上の倫理的側面を理解し、症例の問題点を説明できる。
- ・患者および家族の心情に配慮した言葉使いができる。

◎ 準備学修ならびに事後学修に要する時間

- ・遺伝と遺伝子、臨床ゲノム医学の講義資料を復習すること（4 時間）

◎ 評価方法

遺伝カウンセリングに同席しその概要を理解し、自分自身でロールプレイ演習を
実践、これらを合わせて総合評価する。

知識、態度（積極性）、コミュニケーション、診察手技（DOPS）について評価。

評価基準をループリックで明示。

	1	2	3	4	5
知識	代表的な遺伝形式について説明できる。	遺伝医療における一部の疾患について理解している。	遺伝医療における代表的な疾患の概略を説明できる。	遺伝医療における代表的な疾患についてアセスメントができる。	遺伝医療における代表的な疾患について治療計画を説明できる。
態度	遺伝カウンセリング・ロールプレイで必要事項に最低限の対応ができる。	遺伝カウンセリング・ロールプレイで必要事項に不十分であるがほぼ適切な対応ができる。	遺伝カウンセリング・ロールプレイで必要事項にほぼ適切に対応できる。	遺伝カウンセリング・ロールプレイで必要事項に適切に対応できる。	遺伝カウンセリング・ロールプレイでアイスブレイクを含め適切に対応できる。
コミュニケーション	教員および患者に挨拶ができる。	患者確認と自己紹介ができる。	相手を不快にさせない言葉使いができる。	相手の理解度にあわせて易しい言葉で医学的情報を説明できる。	相手の理解度や心情に合わせて話す内容を変えることができる。
診察手技 DOPS	基本的な遺伝カウンセリングを理解している。	遺伝カウンセリングで提供する医療情報について自分で調べることができる。	指導医とともに遺伝カウンセリング・ロールプレイに参加しその基本的な対応ができる。	指導医とともに遺伝カウンセリング・ロールプレイに参加し、その症例について概ね適切に理解している。	指導医とともに遺伝カウンセリング・ロールプレイに参加し、その疾患に対する診断、必要な検査や治療計画を説明できる。

◎ 中間評価とフィードバック

一日のみの実習なので中間評価は実施しない。

◎ 注意事項

- 9時30分に1号館3階遺伝子医療部（産科婦人科外来入り口の隣）に集合すること。（入り口前で待機して（遅刻者は除き）全員がそろったら遺伝子医療部入り口にあるインターホンを押して入室する。）
- 医療情報でなくとも同席した患者・家族の遺伝情報は個人情報における要配慮個人情報であるので厳格な守秘が求められるので、決して漏洩がないようにすること。